



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1995, 63(6):
876-876

ISSUE DATE:

1995-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/95486>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成7年3月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第63巻 第6号

ISSN 0525-2997

vol.63 no.6

物性研究

1995 / 3

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **63** (1994), 1. のように引用して下さい。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**

ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）

 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンは、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、立体（□）、イタリック（ ）、ゴシック（）、ギリシャ文字（ α ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい文字や記号なども赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

編集後記

阪神大震災のときのことは、しばらく頭から離れないであろう。倒壊した駅舎や高速道路、なすすべもなく燃え広がっていく火災、延々と続く死亡者名簿。テレビの画面を見ながら、自分の見ているものがなかなか信じられなかった。まさかこのようなことが起こるとは、全く考えてもみなかった。この震災で亡くなられた方には心よりお悔やみを申し上げたい。また、被災地域の一日も早い復興を願うものである。

それにしても、いつの間に関西に大地震は来ないなどと思いこんで、あるいは思いこまされてしまったのだろうか。わたしが学部の人に量子力学を教わった先生が、講義のときに「証明のない常識は迷信だ」と言っていたのを思い出す。我々のまわりには、そのような迷信がまだまだあるのではないだろうか。これを機会に点検してみる必要があるのではないか、などと考えている。

(S. T.)

物 性 研 究 第 63 巻第 6 号 (平成 7 年 3 月号) 1995 年 3 月 20 日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒 606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒 606	京都市百万辺交差点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒 606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200 円		

編集後記

阪神大震災のときのことは、しばらく頭から離れないであろう。倒壊した駅舎や高速道路、なすすべもなく燃え広がっていく火災、延々と続く死亡者名簿。テレビの画面を見ながら、自分の見ているものがなかなか信じられなかった。まさかこのようなことが起こるとは、全く考えてもみなかった。この震災で亡くなられた方には心よりお悔やみを申し上げたい。また、被災地域の一日も早い復興を願うものである。

それにしても、いつの間に関西に大地震は来ないなどと思いこんで、あるいは思いこまされてしまったのだろうか。わたしが学部の人に量子力学を教わった先生が、講義のときに「証明のない常識は迷信だ」と言っていたのを思い出す。我々のまわりには、そのような迷信がまだまだあるのではないだろうか。これを機会に点検してみる必要があるのではないか、などと考えている。

(S. T.)

物 性 研 究 第 63 巻第 6 号 (平成 7 年 3 月号) 1995 年 3 月 20 日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒 606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒 606	京都市百万辺交差点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒 606-01	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
年額	19,200 円		

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606-01 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
電話 (075) 722-3540, 753-7051
FAX (075) 722-6339

物性研究 63-6 (3月号) 目次

○研究会報告	
「複雑系」.....	651
○ひろば	
賞公害をどう防ぐか —ラベルでスイカの売れる世にあって—松田 博嗣.....	873
○編集後記.....	876
○目 録 (Vol.62, 63)	877

物性研究 63-6 (3月号) 目次

○研究会報告	
「複雑系」	651
○ひろば	
賞公害をどう防ぐか —ラベルでスイカの売れる世にあって—	
.....松田 博嗣	873
○編集後記	876
○目 録 (Vol.62, 63)	877